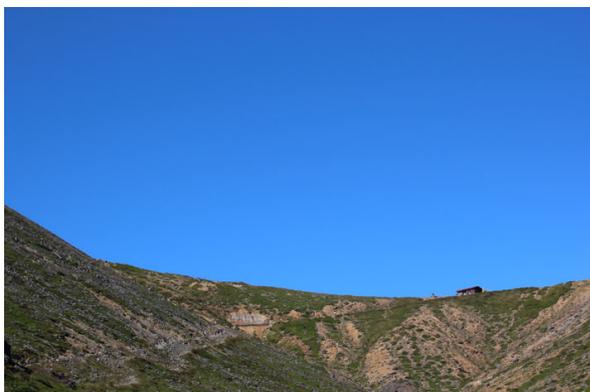


塘研究室現地調査報告 4

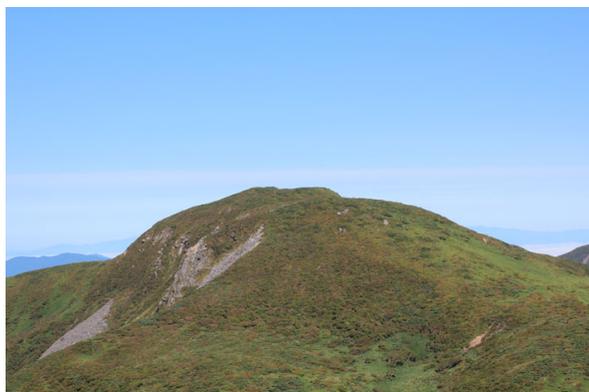
私たちの研究室では磐梯朝日国立公園の山岳域に生息するアザミウマ類の分布調査を行っていますが、磐梯朝日国立公園の山岳性種の分布特性を明らかにするためには、県内外の山岳域でもアザミウマ相調査を実施し、それらと比較することが必要です。そこで、9月18日に日光国立公園内の三本槍岳（標高 1917m）にてアザミウマ類の調査を実施しました。台風一過の素晴らしい青空の下、山頂での 360° の大パノラマを満喫できました。調査者は教員 1 名だけでした。

当初は下郷町の大峠登山口から入山し、鏡ヶ沼経由で三本槍岳に登る予定でしたが、先日の台風の影響か、大峠登山口に行く林道が林道開始地点のすぐ近くで土砂崩落のため通行不可能で、この登山口からの入山を断念せざるを得ませんでした。そこで急遽栃木県側の那須岳峠の茶屋登山口からの入山に変更しました。登山口から峰の茶屋跡（茶臼岳との分岐）→朝日岳の肩（朝日岳との分岐）→熊見曾根→清水平（湿原）→前岳方面との分岐までは栃木県ですが、栃木県での採集許可を得ていないため（特別保護地区ではないので、昆虫の場合は採集不可ではないのですが）採集は行わず、分岐後しばらくして福島県域に入ったところから調査を開始しました。

三本槍岳の山頂までの間、山頂、そして山頂を過ぎて大峠と須立山の分岐付近の 3 地点で山岳性アザミウマ類の採集を行いました。去年は調査できなかった山頂よりも前岳方面との分岐側からもアザミウマ亜科の未記載種で、県内に広く分布する山岳性種の分布を確認することができました。また、去年の調査では未発見だった種も 3 種類ほどを採集することができました。登山道沿いにはエゾリンドウ以外に花はほとんど咲いておらず、ちょっと残念でしたが、キベリタテハが多く、三本槍岳付近にはミヤマハンミョウもまだ健在で、目を楽しませてくれました。



登山道から峰の茶屋跡を臨む。茶臼岳は左手。



清水平へ降りる登山道から見た三本槍岳（奥）。



三本槍岳山頂からは飯豊山、燧ヶ岳、磐梯山、猪苗代湖、布引高原の風車群も見えました。

